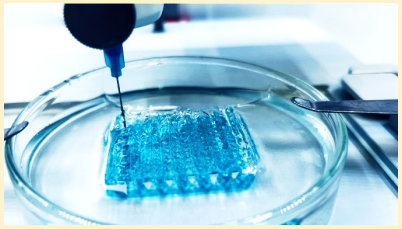
生体環境に適応した材料の設計・創製を目指して

小林 真子

材料システム工学専攻・助教

医学と工学の融合による「生体材料」の開発を目指し、日々奮闘しています！

生体と材料間の相互作用を活用した生体材料の開発や材料の生体影響評価に取り組んでおり、3Dバイオプリントによるがん組織モデルの構築やナノ・マイクロプラスチックの生体毒性評価の研究を進めています。



ハイドロゲルを用いた3Dバイオプリンティング

研究室で作製したナノ・マイクロプラスチック